## 【 資料 】 平成30年度ごみ処理原価

【市のごみ処理】

【中のこの定理】													
部門		ごみの種類											
					資源物						給食施設	合計 (千円)	
大部門	小部門	燃やせるごみ	燃やせないごみ	いごみ 粗大ごみ	ペットボトル	プラスチック製 容器包装	びん類	かん類	古紙類	リサイクル品	川ざらい土砂	相良肥政生ごみ	
作業部門	収集運搬部門	236, 005	48, 166	61, 082	20, 258	64, 504	56, 812	33, 741	86, 658	1, 342	3, 867	5, 983	618, 418
	中間処理部門	288, 262	92, 380	3, 924									384, 566
	最終処分部門	76, 062	3, 272	437							0		79, 771
	資源化部門		9, 844	140	-7, 655	9, 649	5, 114			7, 576		1, 090	25, 758
管理部門		4, 700	1, 383	563	108	637	532	290	744	77	33	61	9, 128
A ごみ処理原何	西 (千円)	605, 029	155, 045	66, 146	12, 711	74, 790	62, 458	34, 031	87, 402	8, 995	3, 900	7, 134	1, 117, 641
@ごみ処理量	t (kg)	41, 037, 770	2, 648, 460	417, 210	303, 720	765, 710	774, 200	357, 950	1, 821, 039	9, 165	488, 582	84, 100	48, 707, 906
<b>⑥ごみ処理量</b>	(m3)	155, 944	43, 779	1, 389	6, 026	9, 097	5, 474	16, 793	7, 486	31	8, 076	113, 535	367, 628
ごみ処理単価 (A×1,000)		14. 74	58. 54	158. 54	41. 85	97. 67	80. 67	95. 07	48. 00	981. 48	7. 98	84. 83	22. 95
ごみ処理単価 (A×1,000)		3, 879. 80	3, 541. 53	47, 610. 71	2, 109. 43	8, 221. 72	11, 410. 78	2, 026. 51	11, 676. 01	294, 738. 21	482. 90	62. 84	3, 040. 14
1 人あたりごみ処理経費(円/人) (A×1,000/ⓒ)		5, 006. 82	1, 283. 05	547. 38	105. 19	618. 91	516.86	281. 62	723. 28	74. 44	32. 27	59. 04	9, 248. 86
1 世帯あたりごみ処理経費(円/世帯) (A×1,000/@)		12, 115. 36	3, 104. 69	1, 324. 54	254. 53	1, 497. 63	1, 250. 69	681. 45	1, 750. 18	180. 12	78. 10	142. 85	22, 380. 13

【集団回収】

【未以问权】								
部門								
140			合計 (千円)					
大部門	小部門	かん類	古紙類	布類	リターナブルびん	廃食用油		
作業部門	収集運搬部門	178	6, 730	9	74	8	6, 999	
	中間処理部門							
	最終処分部門							
	資源化部門							
管理部	•	2	58	0	1	0	61	
A ごみ処理原価(千円)		180	6, 788	9	75	8	7, 060	
②ごみ処理量(kg)		31, 528	1, 650, 179	2, 078	19, 449	1, 388		
⑥ごみ処理量 (m3)		1, 519	6, 340	25	138	78	8, 099	
ごみ処理単価(円/kg) (A×1,000/@)		5. 71	4. 11	4. 33	3. 86	5. 76	4. 14	
ごみ処理単価 (円/m3) (A×1,000/b)		118. 48		363. 04				
1 人あたりごみ処理経費(円/人) (A×1,000/ⓒ)		1. 49	56. 17	0. 07	0. 62	0. 07	58. 42	
1世帯あたりごみ処理経費 (円/世帯) (A×1,000/@)		3. 60	135. 93	0. 18	1. 50	0. 16	141.37	

平成30年度10月現在人口・世帯数

⑥人口	120, 841	人
d 世帯数	49, 939	世帯

- ○収集運搬部門・・・ごみ(資源物)ステーションからごみ(資源物)を集めて、処理場へ運ぶまでにかかる経費です。
- 〇中間処理部門・・・ごみの焼却・破砕するまでにかかる経費です。
- ○最終処分部門・・・焼却・破砕したごみを最終処分場で埋め立てるのにかかる経費です。
- ○資源化部門 ・・・資源物のリサイクル処理にかかる経費です。本市では、「リサイクルコーナー」の運営にかかる経費も含まれます。
- 〇管理部門 ・・・事務や排出指導などにかかる経費です。

※マイナスの経費になっているものは、会津若松地方広域市町村圏整備組合に入った日本容器包装リサイクル協会からの拠出金が、負担金の減額として市に分配されたためです。 ※人口、世帯数には東日本大震災による避難人口、世帯数を含みます。